

# ピラミッド山・イワクラの発見と 地元への提言

## —イワクラ保存提案書—

会員 浜田善博

宮城県塩釜市に在住する、齢65才にならうとする者で、未だ、イワクラ学会の名簿にも載っていない新米の会員です。

今般、柳原事務局長様から、鈴木旭先生も同意された上で、学会会報への投稿依頼のご案内を頂きました。昨年10月には、一度、事情があり、お断りいたしましたが、今回は「…堅苦しく考えず気楽に、今まで調べた事、地元に提案された「提案書」を、会員の方々に知つて頂き、会員のご協力を得る事も大事である…」と言つアドバイスを受けました。私としては、拙い、地元への「提案書」を投稿し、会員の皆様のご指導・ご協力を仰ぐ事は、新米会員としての、私のこれから活動に、ご助言を頂けるのではないかと思い、恥ずかしながら、投稿させていただくことに致しました。

私は、20年位前に、鈴木旭先生の著書を拝見いたしまして、以来、

ずっと、ピラミッドの日本発祥論や、古代の巨石に思いを馳せてきたものでございます。

32才の時にUFOを見てからとおりましたが、定年となりましてから、長年の思いをようやく自分の足で、見て回ることが出来る事となりました。昔も今も変わりませんが、巨石などを見るたび、何故、こんな場所に、こんなものが、ここに有るんだろうか！どうしてこの重い物を上に重ね上げることが出来たんだろうか！決して自然に出来たものではない！と、いつて、古代の人がやつたとしても、どうやつたのか？不可能ではないか！と言う素朴な疑問でした。例えば看板に、「弁慶が一夜にして持ち上げ…」なんて書いてありますと、そんな馬鹿な！と言う事だけでした。民話の世界では、いい

話でしようけれど、私自身、そんな話で納得できるものではありませんで

した。その不思議さを、其の儘にしておくことも出来ません。

どうしても、鈴木先生の著書や、関連した本を読んでは、それしかない！とのめり込んでまいりました。そして、あちこちの山に、確認の為登つたりしております。昨年、国道48号線を通たび見える大きな岩山に、何かあるのではないか？と思っておりました。それが、山形県関山の石崎山でした。そこから見える三角山（後で知った立石山＝ピラミッド又神奈備山）を、本殿山ではないか！と思い、何度も登りました。ピラミッドの特徴や条件を備えているか！里山であるか！川や沼などが有るか！周囲の山岳信仰は！など確認したりしました。

そして、ピラミッドに違いないと厚かましくも、無謀にも、山を管理する地元の「(社)関山愛林公益会」に、私の調査の中身を纏め、この「提案書」をお手渡し致しました。

そして、どうしても、再度、鈴木先生やイワクラ学会様の目で、その立石山を確認していただきたく、地

元への、「提案書」写しをお送り申し上げました。

当然、提案書の中で、地元へは、

「：鈴木先生やイワクラ学会に、地元からも、その確認をお願いしていただけたら…」とも、書かせて頂きました。地元から、動いて頂けるかは分かりませんが、もし、そのよう

な事になれば、ますます張り切って、あちこち又、ピラミッドや巨石探しに飛び回ることでしょう。

今般、この「提案書」を、投稿するものでございます。

唯、今日現在、地元からのお問い合わせ・回答などはございません。提案が昨年10月でしたので、地元は間もなく冬に入りましたので、その後の経過としては、進展がないと思われます。唯、提案後、また、確認に登りました時に、更に、山の雑草や枝や枯れ木などが綺麗に整備されている感じでした。

本件に関して、鈴木先生から、春には出かけて調べましよう！というご返事を頂きました。その前に、色々

調べておきましょう！と言う事で、一度確認させたいと言わされました。

その岡崎様の確認結果は、鈴木先生を通じても、未だ聞いておりませんが、次会報で何らかの発表があるのではないかと期待しておる所でござります。

又、私には、鈴木先生から、「周辺の山や河、神社、縄文遺跡などとの関係を総合的に見ておく必要があるかと思う。又、それらの位置関係を示す地図とか、スケッチ、これら

の調査に欠かせないのが方位角、距離などの地理学的情報です。」と

言つ事でしたので、それらを調査して、資料など送付いたしておる段階です。

帰国後の、古代文明史の研究から、ピラミッドは、今から20,000～30,000年前に誕生した古代日本が発祥地である。…という説を唱えた人物です。

その説によると、ピラミッドの要件は、三角形の形をしていて、本殿の頂上に神殿があり、それを遙拝する拝殿が近くにある事。本殿には、太陽石や列石が、拝殿にはドルメン、方位石、鏡石、メンヒルなどが存在すると言われています。

今では、これに限らず、定義され

以下、地元山管理者にお手渡し致しました「提案書」です。

以下、地元山管理者にお手渡し致

## 1、始めに

超古代文明の文献を見る時、必ずや、酒井勝軍という名前が見えます。

酒井は、明治6年に山形県に生まれ、現在の宮城県東北学院を卒業して、その後、アメリカに渡つたり、シベリアに従軍したり、陸軍からパレスチナに派遣されたり、その際に、エジプトにも行つたりした…との事です。

帰国後の、古代文明史の研究から、ピラミッドは、今から20,000～30,000年前に誕生した古代日本が発祥地である。…という説を唱えた人物です。

その説によると、ピラミッドの要件は、三角形の形をしていて、本殿の頂上に神殿があり、それを遙拝する拝殿が近くにある事。本殿には、太陽石や列石が、拝殿にはドルメン、方位石、鏡石、メンヒルなどが存在すると言われています。

今では、これに限らず、定義され

酒井はエジプトのピラミッドは、日本のピラミッドが伝播したものであり、日本でも、必ず、将来発見されると予測していました。酒井が6才の時に、情報から、広島の葦嶽山に登り、その構造から、酒井の説がことごとく実証されたのです。そのピラミッドは、今から23,000年前のものであると言い切ったのです。何故、言い切れたのか？や、また、何故、酒井がその構造等を知り得たのか？は、謎の儘です。その後、青森の大石神山、岩手の聖地としての五葉山、更に、竹内古文書で有名な竹内巨磨により青森の十和利山が、酒井は、岐阜高山では、50,000年前という世界最古の平面ピラミッドを発見した…と言つてます。

その後の研究により、ピラミッド同様、超古代巨石文化もまたその一つであるといわれます。人工の山と言われる秋田県黒又山を始め、岐阜県位山、高屋山、富山県尖山、広島県葦嶽山、飛驒高山を中心とする地域、その他、沢山のピラミッドと古代巨石遺跡、が発見されています。

更に、日本には幾つものピラミッドがあるのではないか・という事です。土偶や土器が出ないと、思考停止に陥る・・と言われております考古学会を別にしまして、既述の鈴木先生、磐座学会、ペトログラフ協会⋮その他多くの団体により、又、個人でも、在野の研究家諸先生方により、現在、研究が進められていると聞きます。

私が、ピラミッド、超古代巨石文  
明の跡を求めて、数ある中の、ほん  
の一握りであろう、回り登つて見た  
山々は、東北に限定しますと、次の  
通りです。

巨石・安達が原、宮城・  
立石山、鹿島天足別神社、  
神行堂山

山形・富神山とストーンサークル(＝)も、本來ピラミシド？に入れるべきです。)裏山寺、雨垂れ岩、水晶山、一念峰、岩部山、小湯山、観音岩、千歳山、戸神山、

岩手・達谷窟、福島・岩  
角山、吉祥寺、信夫山、

石都々和氣神社、木幡山  
穏津島神社、靈山、

宮城・石神山精神社、釣  
石神社、七つ森・遂倉山

磐岳山、夫婦山、  
大森

田辺 拝殿

2、立石山はモロコシアゲハツノモリ

石崎山は、一枚の、大きな岩の上に全て乗つかつてゐる感じです。もしかしたら、巨石を集めて積み上げ、小さな山にしたのでは・・と思えるような感じです。その小さなマウンドの様な山に、登り口が東と西と南北にあります。西の登り口には、後年、作られたであろう（？）お社が2つあります。延命地蔵尊と觀世音が祀られています。

お社の一寸上には、巨石を積み上げた見事な祭壇石があります。

頂上付近は、全部が巨石から出来てるよう

うに、見えます。切り取った様な巨

石の壁も見えます。緩やかな傾斜に

あるにも拘らず、垂直に切られた方

位石もあります。

巨石の組石があります。

鏡石らしき巨石？と思ひ、探しましたが、これはどうかな？と思うものの、こじ付けになるようで、はつきり分かりません。大岩の上から、東方向を見ると、形のいいピラミッド型の山が見えます。一つ中間にある山を越して、後ろに見えます。ほん

石崎山は、一枚の、大きな岩の上に全て乗つかつてゐる感じです。もしかしたら、巨石を集めて積み上げ、小さな山にしたのでは・・と思えるような感じです。その小さなマウンドの様な山に、登り口が東と西と南北にあります。西の登り口には、後年、作られたであろう（？）お社が2つあります。延命地蔵尊と觀世音が祀

られています。石崎山に、こんな立派な方位石や祭壇があるなら、あの東側の三角の気になる山が本殿のピラミッドではないか。石崎山は、その拝殿ではないのか？と胸が高鳴ります。

その山の北側に行つても、もっと奥に行つても、形は綺麗なピラミッド型です。

その山麓の北側の道路沿いにある山裾のお社群（6社）をお参りしました。馬頭觀世音や稻荷大心靈等が祀られておりました。中には、丸い石が沢山お供えしてあり、社の外にも丸い石があります。不思議な感じです。

東側の方に向かい、漸く、見えるところから見ても三角です。近くの家に訪ねて、この山の名前やいわれ等を聞いたのですが、分かりませんでした。もしかして「ピラミッド」の絶句でした。その後は、「ほんとですか？」

立石山ですか？でしたら、山の頂上付近に巨石がありますか？」とお聞き致しました。「もしかして水晶山の事ですか？」と、逆に聞かれました。又、東側の採石場の入り口に来ました。防災、火伏せの神、古峰神社

とにいい形のピラミッド型をしております。石崎山に、こんな立派な方位石や祭壇があるなら、あの東側の三角の気になる山が本殿のピラミッドではないか。石崎山は、その拝殿ではないのか？と胸が高鳴ります。

その山の北側に行つても、もっと奥に行つても、形は綺麗なピラミッド型です。

その山麓の北側の道路沿いにある山裾のお社群（6社）をお参りしました。馬頭觀世音や稻荷大心靈等が祀られておりました。中には、丸い石が沢山お供えしてあり、社の外にも丸い石があります。不思議な感じです。

東側の方に向かい、漸く、見えるところから見ても三角です。近くの家に訪ねて、この山の名前やいわれ等を聞いたのですが、分かりませんでした。もしかして「ピラミッド」の絶句でした。その後は、「ほんとですか？」

立石山ですか？でしたら、山の頂上付近に巨石がありますか？」とお聞き致しました。「もしかして水晶山の事ですか？」と、逆に聞かれました。又、東側の採石場の入り口に来ました。防災、火伏せの神、古峰神社

があります。入り口に巨石がでんと座つてあります。この山は神の山！

神の領域！…とでも、言つてゐるかのようにデンと構えております。東側

山麓には、川幅、20m位の「村山野川」が流れしており、超古代の人があ

りません。

ここから頂上までいけるか

な？・・と階段を登りましたが、神社から上には行けませんでした。そ

れでは・・と、先刻、漏れ、お聞き

した「水晶山」に行く道を聞こうと車を走らせ、…とある家の前に停めて、お尋ねしました。ついでに、さ

っきの気になる山、即ち、石崎山の隣の高いピラミッド山についてお聞き

きました。

山の名前をお聞きした途端、一瞬、

絶句でした。その後は、「ほんとで

すか？」

立石山ですか？でしたら、山の頂

上付近に巨石がありますか？」とお

聞き致しました。「沢山ありますよ

」の答えには、もう「登つて、確認し

なければ！」…という気持ちでした。

登れますか？とお聞きしましたら、「私達が木を切つて、草刈しましたから登れますよ！」とのご返事でした。立石とは、ぜひメンヒルではないですか！

心躍らせ、日をあらためて登りました。中間にある山の尾根を伝つて

いた。山麓には、川幅、20m位の「村山野川」が流れおり、超古代の人があ

りません。

ここから頂上までいけるか

な？・・と階段を登りましたが、神社から上には行けませんでした。そ

れでは・・と、先刻、漏れ、お聞き

した「水晶山」に行く道を聞こうと車を走らせ、…とある家の前に停めて、お尋ねしました。ついでに、さ

っきの気になる山、即ち、石崎山の隣の高いピラミッド山についてお聞き

きました。

山の名前をお聞きした途端、一瞬、

絶句でした。その後は、「ほんとで

すか？」

立石山ですか？でしたら、山の頂

上付近に巨石がありますか？」とお

聞き致しました。「沢山ありますよ

」の答えには、もう「登つて、確認し

なければ！」…という気持ちでした。

立つた次第でした。

水晶山は、後日登り確認しましたが、石崎山との絡みはないよう思いました。

確かに、水晶（石英）に、圧がかかると大きな電圧が生じ、エネルギーを生んだり、山も磁化され、放電も起るのではないかとも言われております。所謂、ピラミッドの一つの特徴と言いますが、現象と言いますが、あると言われております。

無責任ですが、何かあるとすれば、麓の、雨垂れ岩（天童ゴルフ場）との絡みではないでしょうか！…まだこの山は確認されるべき！…と思いました。

とは、言いましたものの、立石山ピラミッドは、地元の方々に、ご提案させて頂くと言う事になれば、あらためて冷静に確認する必要があり、その後も、確認に登りました。確かに、私自身は、超古代に造られたもの！と思つて見ても、長い年月の内に、自然の力で、信じられないような景観や、人為的に造られたような景観が出来ると思われるものも、多々存在致すからでござります。

この山の管理は、峰の南側を（社）関山愛林公益会殿が、北側を觀音寺生産森林組合殿が管理されております。この地域は、扇状地であり、又河岸段丘となつております。山が出来た・・と地元では考えられております。

周囲には、神社が多く祀られており、田の中にも、薬師如来の眷属の十二神なのか、雷をつかさどるゼウス十二神なのかは定かではありませんでしたが、その社があつたり、立石山の南側にもいくつもの社があり、まだこの山は確認されるべき！…と思いました。

とは、言いましたものの、立石山ピラミッドは、地元の方々に、ご提案させて頂くと言つた事になれば、あらためて冷静に確認する必要があり、その後も、確認に登りました。確かに、私自身は、超古代に造られたもの！と思つて見ても、長い年月の内に、自然の力で、信じられないような景観や、人為的に造られたような景観が出来ると思われるものも、多々存在致すからでござります。

いざれに致しましても、提案しておきながらですが、ご見識ある方、ご専門の方々のご確認は、必要であるという次第でござります。失礼をお許し下さい。

こんなに立派なピラミッド…と思える山を、もつと世に、広めたつて良いのではないかと思います。関係者が大事に整備され、又、小学生達が、頂上まで、綺麗に「立て看板（道標）」を設置されて、道案内され、愛しんでおられる地元のこの山を、沢山の方々に見て頂き、登つて頂く事が、必要であるかと思うのでござります。このような、殺伐とした世界にあって、子供達の情操教育のために、「ロマン溢るる、『立石山登り』」が、行事化されるような計画などもあっていいかと思うのです。もしかして行われているとすれば、お節介もいいところで、恥ずかしき限りでござります。

いざれに致しましても、提案しておきながらですが、ご見識ある方、ご専門の方々のご確認は、必要であるという次第でござります。失礼をお許し下さい。

町が、地元が、潤う事はないにしても、東根に、又関山に、こんな立派な超古代巨石文化の遺跡が…いや、エジプトピラミッドの原型が…にある！って。：楽しいではないでしょうか！荒唐無稽と思う無かれ！です。

出身の、ピラミッド等超古代文化のご専門家、歴史作家鈴木旭氏のご確認を頂き、ピラミッドとしてのお墨付きを頂くよう、進めていただければ、喜びとする所でござります。

私は、ピラミッド日本発祥論＆超古代巨石文明論に傾倒する、自称、広遊樂者・アマチュアの一人に過ぎません。ご提案だけさせて頂きたいと思うのでござります。是非、確認を得、正式な、「ピラミッド」山として…と願わずに居られません。

かく言う私は、山形県出身ですので、立石山が、公に認めて頂くことに、事のほか、その思い入れが強いのです。是非是非！と思う次第です。

#### 4、写真添付

謹言

### 3、地元の方々の確認を！

私は、出来れば、磐座学会会員の方々や、私が敬意をはらつてる天童

# 石崎山



石崎山

山全体が巨石で出来てる感  
ですが、元から、そこにあったん  
だろうか？

巨石の尾根が脊髄のようです。



巨大な一枚岩

「巨大な岩はそこに運ばれて  
置かれたのではないでしょか？」  
と、申し上げましたら、地元の方に  
一笑されました。



祭壇石か！

見事な巨大な組み石です。

祭壇石ではないでしょうか！



### 方位石か！

緩やかな傾斜地に立っています。

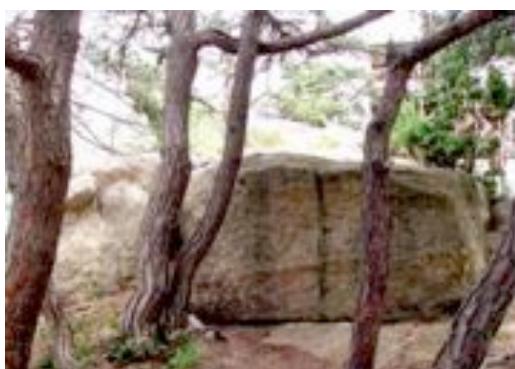
それも垂直に切られています。

北北西(南南東)をさしています。



### 組み石です。

それとも天柱石？は、かんがえすぎでしょうね！

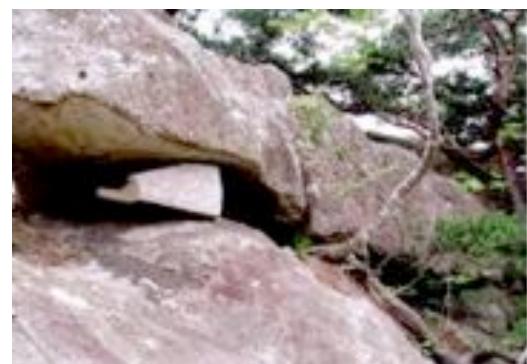
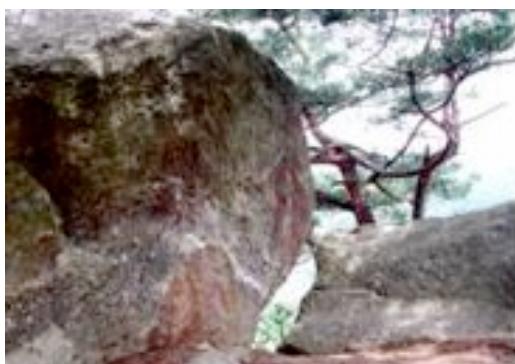


「左」及び「左下」は切り取り、加工されたようですか？。

明らかに人為的です。

「下」は、バランスを取る為でしょうか？

後で、落下防止で地元の方たちが間に石を差し込んだのでしょうか？それにしても古代の人は、簡単に巨石を動かしたようです。





東側から

手前が石崎山(拝殿)

後方三角山が立石山

(ピラミッド本殿)

不思議な事に中間の山「立石山」には石が見当たらないのです。

### 東側から立石山を見る

石崎山から、気になる山が見えます。

見事なピラミッド山「立石山」です。



北側から立石山を！  
を！

南側、国道 48 号線から立石山



# 立石山

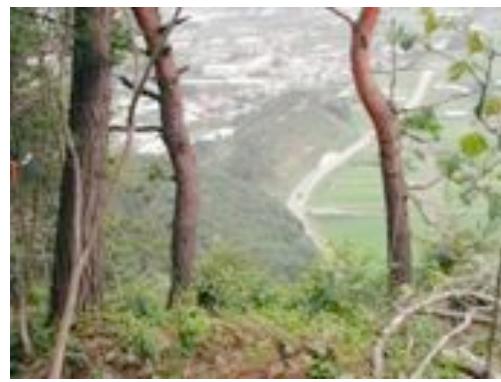
南側山麓のお社群の中に丸石が供えてあります。馬頭観音や稻荷神靈が祀られています。



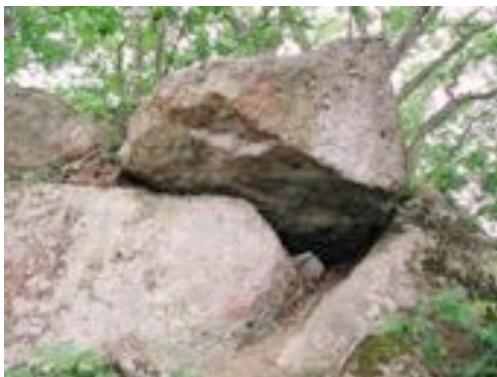
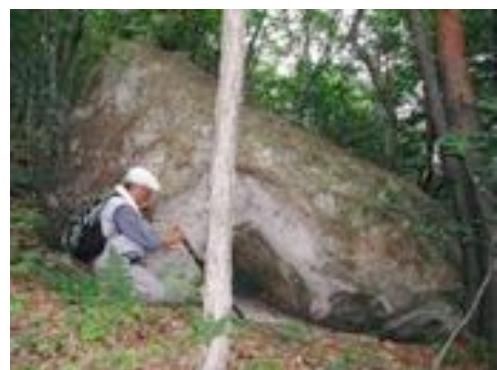
西側の古峰神社前に奥行きのある巨石です。



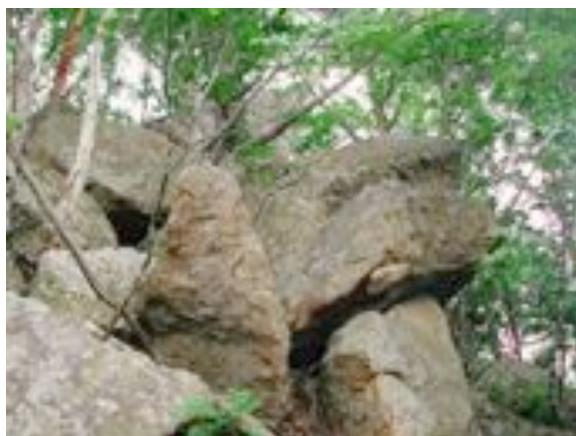
立石山、ピラミッド本殿から拝殿の石崎山(西南西)を望む！



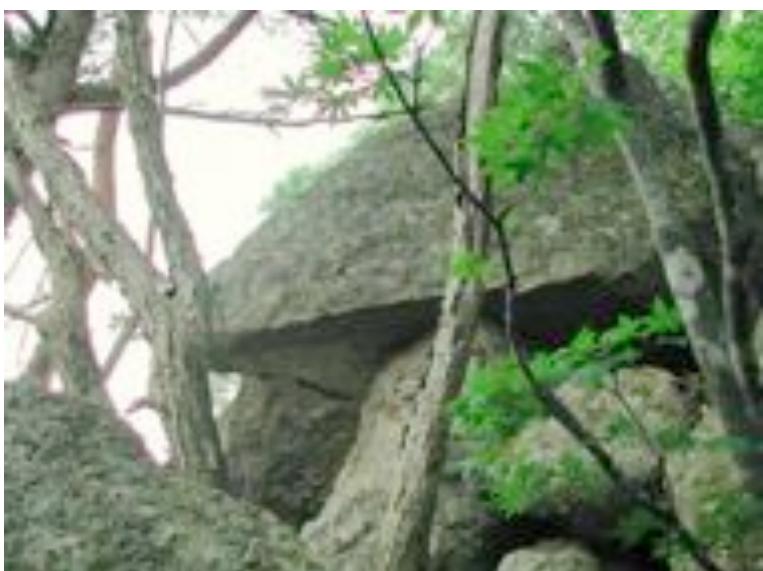
中腹～頂上にかけて、見事な巨石(磐境)が配置(?)されています。



## 頂上の巨石群



ドルメンではないだろうか？  
側面から下が平らにされておりドルメンでしょう！



天岩戸か？

正面から



ドルメンか？崩れた石にも見えますが



**頂上** 何とも言えないが、意味ある組石に見えないこともない。



巨石の間に



舟石？祭壇石のような？



天柱石か



巨大な石！鏡石か？

南南西に面する。かつては、高さ 10m、横 20 m位の巨岩が 10 個位に割られたものでないでしょうか？



天に届くようなメンヒル！6~7mもある！



見事なメンヒルである。



